

# 2月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[令和8年2月末現在]

令和8年3月19日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比では「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも改善した。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業は悪化し、非製造業は変化がなかったが、前月比は製造業は改善し、非製造業は変化がなかった。「売上高」の前年同月比は製造業、非製造業はともに悪化し、前月比も製造業、非製造業ともに悪化した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業、非製造業ともに改善した。

先行きが不透明な状態であるとの意見が多くみられた。

## 景況DI

全体では、前月比 1.8ポイント改善の▲12.5ポイント、製造業は、前月比 3.0ポイント改善の▲25.0ポイント、非製造業は、前月比 変化なしの0.0ポイントとなった。

## 売上高DI

全体では、前月比 1.8ポイント改善の▲12.5ポイント、製造業は、前月比 4.3ポイント悪化の▲8.3ポイント、非製造業は、前月比 2.4ポイント悪化の▲16.7ポイントとなった。

## 収益状況DI

全体では、前月比 9.7ポイント改善の▲27.1ポイント、製造業は、前月比 11.2ポイント改善の▲20.8ポイント、非製造業は、3.4ポイント改善の▲33.3ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
1	食料品	学校給食パン	茨城県における学校給食パン業界は、業者の減少、後継者不足、パン需要の縮小、経営リスクの増大といった構造的な問題が重なり危機的状態。安定供給が揺らぎつつある状況となっている。	
4		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県1月の清酒課税移出数量は、対前年同月比94.7%であった。当月も対前年同月比でマイナスであったが、昨年1月が好調であったことを考えると横ばい程度で推移している。 しかし、ここ1年ほとんど対前年同月比マイナスとなっている状況は、業績が落ちていると言わざるを得ず、日本人の日本酒離れと特に地方の一般庶民の実質賃金低下が影響していると考えられる。 ○県内当業界について 令和6年からの原料米高騰により収益が圧迫され、ほとんどの酒蔵の決算が悪化している。酒造季における原料米購入資金は先行投資となり、金融機関からの借入が必定であり、今期は特に決算内容の悪化に伴い、金融機関からの借入に苦勞している酒蔵がでてきている。 日本酒造組合中央会も新しい原料米購入資金の保証制度を創設して対応している状況となっている。	
5		納豆	商品の値上げによる消費者の商品購入数の減少、小売店の取扱数量減少により製造量の減少が懸念される。そのような状況ではあるが、人手不足により工場稼働率が低下している。	
6		菓子	アメリカのイラン攻撃の影響による原油高に始まり、ガソリンの価格が高騰しており、消費が低迷している。	
7		漬物	漬物市場全体としては、少子高齢化や食の多様化など構造的要因による市場規模、生産量の縮小傾向が続いている。さらに、異常気象による原料高騰や供給量の不安定化、肥料・燃料・物流費の高騰等により極めて厳しい状況。また、漬物原料を栽培する農家の高齢化、後継者不足が深刻化している。 高付加価値商品や消費者ニーズにそった商品の開発が求められている。 今後も原材料調達難は続く見込みで、各社は安定的な収益構造への転換が迫られている。	
10		繊維工業	外衣シャツ	縫製業の経営環境は、良い状況ではない。
11		木材・木材製品	製材	国産材製品、構造材は過剰な在庫がない状態で価格は横ばい、造作材・羽柄材は価格の上昇が予想される状況となっている。 外材の価格については、構造材が徐々に上昇していく傾向にある中、造作材は高値安定で推移した。 原木価格については、スギ、ヒノキとも3mは横ばい、4mは減少傾向で推移した。
12	県北地区プレカット		月間加工坪数目標(1,000坪)は70%達成。 3月の加工予定は、中旬に集中し、20棟を予定している。 木材費は、高値安定を維持している。	

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
14	印刷	総合印刷	2月に開催された衆議院選挙により、印刷物等に関する会社は繁忙であった。
18	窯業・土石製品	陶磁器	2月は産地全体に大きな動きはなかったが、一部ゴールデンウィークの陶器市のための生産原料が不足し、影響がでている。
19	鉄鋼・金属	鉄鋼	2月の受注量・売上高ともに前年比で大きな減少はなかったが、受注状況は減少傾向がみられる。金属材料は高値で推移しており、その他の工業用薬品についても値下がり傾向はみられない。電気代や燃料費・灯油など石油製品は落ち着きをみせた。
20	製造業	一般機器	対象7組合員（製造会社）の売上状況は、増加（対前年同月比）7社、減少（対前年同月比）0社となった。全体増減率は126%となった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が引き続き増加したことから10カ月連続で前年同月比を上回り、3カ月連続で全社前年同月比で増加となった。 団地全体の従業員数は、売上高が増加してきている企業に派遣社員が増加しており、前年同月比で約40名増加した。
22		電気機器	重電
26	卸売業	生鮮魚介	精算所の取扱高は前年同月比で増加となった。 市場の取扱数量はかなり減少しているように思われるため、今後は、春のイベント等が多く開催され取扱数量が伸びていくことを期待したい。
27		米麦	令和7年産の米の販売が遅れていることから、在庫が増加し、集約倉庫が足りない状況となっている。
28		袋セメント	袋セメントの令和8年2月の出荷数量は、23千袋の実績となった。 恒常的な需要の低下に加え、12月値上後の販売数減少に歯止めがかからず、前年同月比でマイナス5千袋、85.7%で推移した。 販売二次店や職人のホームセンター私製袋へのシフトが更に進んでいることが推測され、先行きが不透明な状況が変わっていない。
29	鹿行地区共同店舗	鹿行地区共同店舗	売上高は102.88%（対前年同月比）と増加した。 来客数は94.60%（対前年同月比）と減少した。 積雪により、組合員10店舗中6店舗が臨時休業、翌日凍結のため、3店舗が開店時間を遅らせて対応した。 雪の影響で来客数は減少したが、売上高は前年を超える店舗が多く、前年同等の実績となった。
30		県南地区共同店舗	ショッピングセンター全体として令和8年2月の売上高（対前年同月比）102.09%と増加となった。

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
32	非製造業 小売業	燃料	12月31日にガソリンの暫定税率が廃止され、ガソリンの茨城県内の小売価格は昨年に比べ26.4円値下がりしたが、原油価格の上昇等の影響により、小売価格は徐々に値上がりしてきている状況となっている。また、イスラエルとアメリカによるイラン攻撃とその反撃によりホルムズ海峡対鎖まで発展したことにより、今後原油価格が高騰することが懸念され、今後の動向に注視する必要がある。 4月1日に軽油の暫定税率廃止が予定されており、地方税である軽油引取税17.1円分の税収が減少する。組合から組合員へ3月末までと4月1日に力の軽油引取税の納税のための在庫管理についての周知を行い、正確な納税を行っていただくよう上部団体からの指導のもと、周知活動を行った。 少子高齢化や車の低燃費化等の影響により県内の組合員ガソリンスタンドも減少傾向が加速しており、特に山間部等では減少が顕著になってきている。このまま進むと地域住民の生活に支障をきたすのではないかと危惧している。
35		スポーツ用品	県南のスポーツ店は小・中高校生の生徒数が増加している地域もあるが、それ以外の地区は生徒数の減少が著しく、売上をあげるのに苦労している状況となっている。(県央は横ばい) 県立高校の入試倍率も定員割れの高校も多く、学校体育ウェアやシューズの売上も厳しい状況となっている。
36		中古自動車	業界全体の在庫不足は依然改善されておらず、2月期は販売台数実績は対前年同月比84.7%と落ち込みが大きかった。各販売店の在庫も減少しており、その分1台1台の販売価格は上昇している。中東地域の情勢が悪くなり、中古車業界にも一定の影響が出ることが予想され、先行きは不透明なままの状況となっている。
37		野菜・果実	2月の野菜果実の取扱高(対前年比)は97.8%と減少となった。過去5年間の平均と比較すると103.8%と増加となった。野菜、果実ともに全体的に入荷増の単価安で推移し、特に白菜、ほうれん草などの葉物野菜が市場内であふれている様子が見られた。ミカン類は集荷も終盤となり減少、イチゴ類は最盛期を迎えている。
38	商店街	水戸	現状、売上は若干減少するにとどまっているが、先月に引き続き、全体的な業況は悪化している。
41	非製造業 サービス業	自動車整備	組合員の事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は普通車は、1.9%の減(対前年同月比)、軽自動車は1.1%の増(対前年同月比)となり、平均しても横ばいであるが、単価の低い軽自動車のため、売上としては伸び悩む結果となった。販売価格・売上高の増加は原油(消耗品価格・部品代)等の高騰によるものであり、収益面は悪化している。
42		旅館、ホテル	【水戸市】 閑散期により需要減退が顕著となっている。予約の直前化(リードタイム短縮)が加速し、在庫管理や受注予測が困難な状況となっている。客数は減少傾向だが、適正価格での販売によりADR(Average Daily Rate(客室平均単価))は上昇している。一部で法人需要が宿泊利用へ転換する動きがあり、今後の動向に注視が必要な状況となっている。 【大洗町】 各需要ともに前年並みの安定稼働を維持している。近隣施設のリニューアルによりエリア相場が上昇しており、自館の価格転嫁(値上げ)後も販売ペースは落ちず、収益性の向上が図られている状況となっている。 【笠間市】 平日のビジネス需要が鈍化しており、稼働率の低下した。 【ひたちなか市】 イベント時を除き、週末稼働が前年を下回り厳しい状況となっている。観光インバウンドは低調だが、ビジネス目的の訪日客は前年並みの水準を維持している。 【つくば市】 大学入試の特需により、高単価・高稼働を実現し、観光面は「梅まつり」で宿泊客が微増したが、日帰り入浴は前年割れとなっている。暖冬による開花前倒しで、3月の集客期間短縮が懸念される。 【北茨城市】 アンコウ需要により予約は堅調となっている一方、深刻な人手不足から受注調整(売り止め等)を余儀なくされ、機会損失が発生している。インバウンドは中国客が減り、台湾客が伸長している。 【大子町】 水瀑がメディアに発信されたことにより、集客に寄与した。客層は茨城県内及び一都三県が中心で、地域密着型の構成に変化はない。インバウンドは全体の数%にとどまり、アジア圏が主軸となっている。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和8年2月

情報連絡一覧票

NO.	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
43		ビル管理	売上高は前年と変わらないが、単価が上がっているため、実質的には微減となっている。退職者補充の人材確保に苦慮している。
44	建設業	総合	公共事業 (県・市) の予算減少により発注予定件数、金額が減少しており、業界の見通しが非常に厳しくなっている。
49	運輸業	軽貨物自動車	令和8年2月の組合員数は増減なしの96名、車両台数は1台増加の125台となった。運送売上高については、対前年同月比82.8%で減少となった。全国赤帽自動車運送協同組合連合会の令和8年2月の組合員数は23名減 (対前年同月比) の5,672名、車両台数は22台減 (対前年同月比) の6,796台となっている。
50		一般貨物自動車	輸送運賃は少し値上げされているが、人件費の増加や車両代・車両整備費等の値上がり、運転手の確保難等により、収益としては厳しい状況が継続している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っている。行政には米価の歴史的な高騰により経営が圧迫されている酒造への原料米購入資金の補助金の検討
電気機器	重電	業種別最低賃金を不要にしてほしい
小売業	燃料	揮発油に課税している二重課税の廃止 ・4月1日軽油暫定税率廃止に伴う消費者への十分な周知 ・物価上昇、円安への対策 ・SS事業者への暫定税率廃止に伴う収益悪化に対する金融的支援 ・暫定税率分の軽油に係る地方税への適切な対応
サービス業	旅館・ホテル	【宿泊施設の維持・修繕に対する直接補助の創設】 物価高騰の影響もあり、老朽化した施設の修繕や維持管理が大きな負担となっています。安全で快適な施設環境を保つため、改修等に活用できる直接的な補助制度について、前向きな検討  【宿泊需要喚起策 (いば旅あんしん割) の再実施】 物価高による旅行控えを払拭し、県内の観光・宿泊需要を再び盛り上げるためにも、「いば旅あんしん割」の再実施によるお力添え

月次景況調査 2月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比
景 況	▲ 12.5	▲ 14.3	1.8	▲ 25.0	▲ 28.0	3.0	0.0	0.0	0.0
売 上 高	▲ 12.5	▲ 14.3	1.8	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 4.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 2.4
収 益 状 況	▲ 27.1	▲ 36.7	9.7	▲ 20.8	▲ 32.0	11.2	▲ 33.3	▲ 36.7	3.4
販 売 価 格	12.5	10.2	2.3	8.3	4.0	4.3	16.7	10.2	6.5
取 引 条 件	▲ 18.8	▲ 16.3	▲ 2.4	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 4.7	▲ 20.8	▲ 16.3	▲ 4.5

# 中小企業月次景況調査(令和8年2月)DI値(前年同月比)

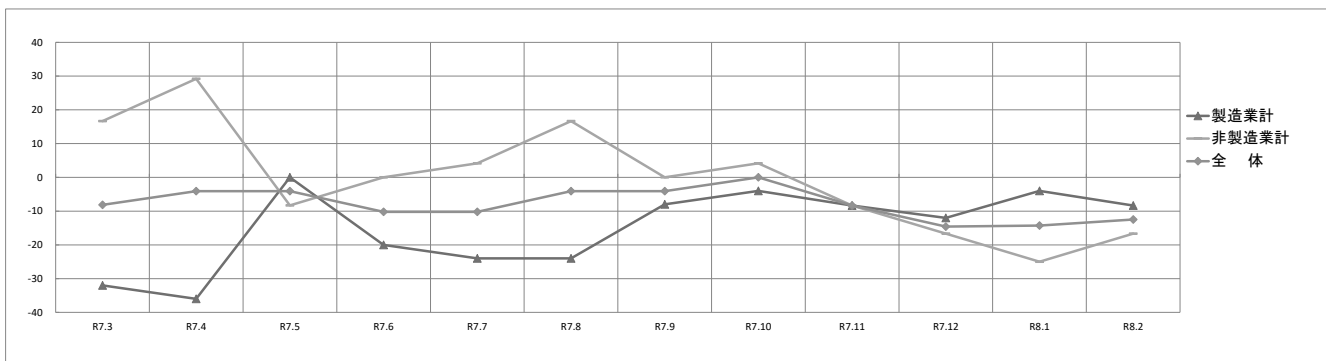
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)												
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数					
製造業	食料品	△ 12.5	2	3	3	8	△ 12.5	0	7	1	8	50.0	4	4	0	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 25.0	0	6	2	8	△ 50.0	0	4	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	0	5	3	8
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 50.0	0	2	2	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	0.0	1	0	1	2	50.0	1	1	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
製造業計	△ 8.3	6	10	8	24	△ 8.3	2	18	4	24	8.3	5	16	3	24	△ 16.7	1	18	5	24	△ 20.8	2	15	7	24	△ 20.8	1	17	6	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 16.7	2	16	6	24	△ 25.0	1	16	7	24	
非製造業	卸売業	△ 66.7	0	1	2	3	33.3	1	2	0	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小売業 (商店街含む)	△ 18.2	1	7	3	11	△ 18.2	0	9	2	11	9.1	3	6	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 27.3	0	8	3	11					0.0	0	11	0	11	△ 36.4	0	7	4	11	
	サービス業	66.7	2	1	0	3					66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3		
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5					△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	△ 16.7	3	14	7	24	△ 7.1	1	11	2	14	16.7	7	14	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 33.3	0	16	8	24	△ 25.0	0	18	6	24					△ 12.5	0	21	3	24	0.0	0	2	0	24	
全体	△ 12.5	9	24	15	48	△ 7.9	3	29	6	38	12.5	12	30	6	48	△ 18.8	1	37	10	48	△ 27.1	2	31	15	48	△ 22.9	1	35	12	48	△ 25.0	0	18	6	24	△ 14.6	2	37	9	48	△ 12.5	1	18	7	48	

## D I 値推移表 (R7.3月 ~ R8.2月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2
食品品製造業	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5
製造業(食品品製造業以外)	▲ 35.3	▲ 35.2	5.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 5.8	0.0	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 5.8	▲ 6.2
製造業計	▲ 32.0	▲ 36.0	0.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 8.3	▲ 12.0	▲ 4.0	▲ 8.3
卸売業	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	66.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	9.1	54.5	▲ 27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 18.2
サービス業	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	▲ 33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7
建設業	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	16.7	29.2	▲ 8.3	0.0	4.2	16.7	0.0	4.2	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7
全体	▲ 8.2	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 4.1	▲ 4.1	0.0	▲ 8.3	▲ 14.6	▲ 14.3	▲ 12.5

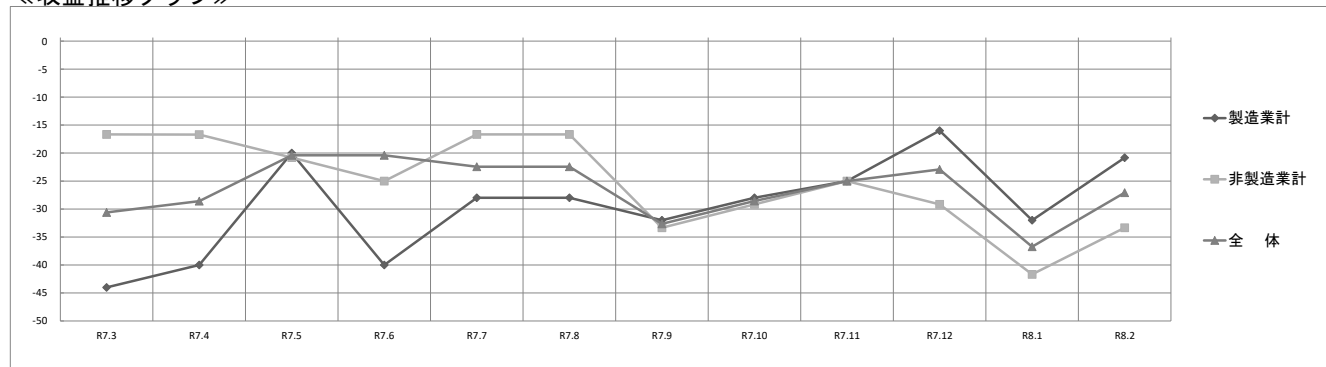
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2
食品品製造業	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 14.3	0.0	▲ 37.5	▲ 25.0
製造業(食品品製造業以外)	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 11.7	▲ 41.1	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 29.4	▲ 18.7
製造業計	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 20.8
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	#####	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	9.1	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 54.5	▲ 36.4
サービス業	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 33.3
全体	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 22.9	▲ 36.7	▲ 27.1

### 《収益推移グラフ》

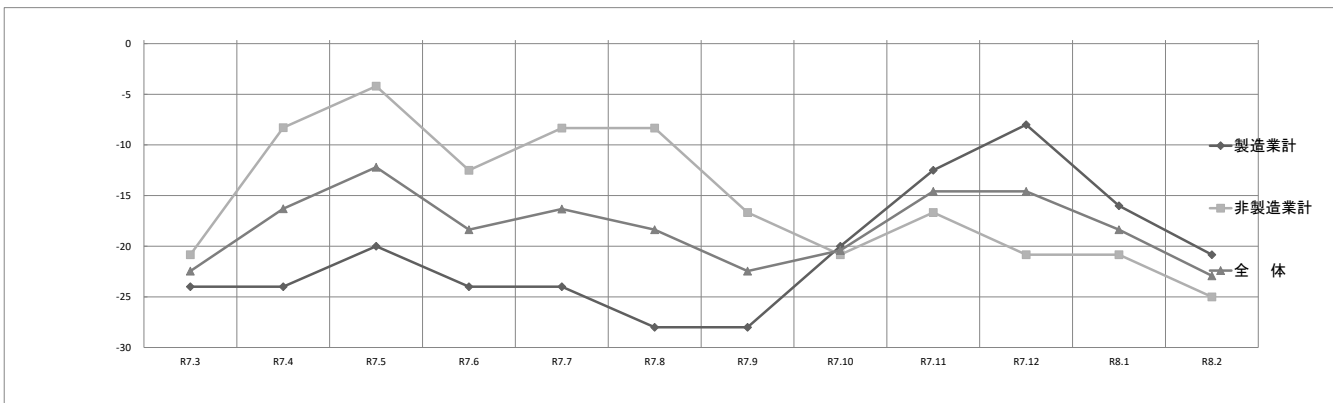


## D I 値推移表 (R7.3月 ~ R8.2月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2
食料品製造業	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 14.3	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 17.6	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 6.2
製造業計	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 20.8
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 25.0
全体	▲ 22.4	▲ 16.3	▲ 12.2	▲ 18.4	▲ 16.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 20.4	▲ 14.6	▲ 14.6	▲ 18.4	▲ 22.9

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8	R7.9	R7.10	R7.11	R7.12	R8.1	R8.2
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 35.2	▲ 35.2	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 18.7
製造業計	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 32.0	▲ 36.0	▲ 32.0	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 25.0
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	#####	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	0.0	33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 32.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 8.2	▲ 10.4	▲ 14.3	▲ 12.5

### 《景況推移グラフ》

